

活動名	はこだてらこや～函館の将来を担う人材育成～	団体名称	一般財団法人 北海道国際交流センター
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動の目的	①学習支援活動

■申請書の活動概要<150～200字>	■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
---------------------	-------------	-----------------

<p>拠点型の学習支援事業。学校の勉強サポートだけにとどまらず、社会に出てから役立つ教育、人材育成を行う。例えば、自分でその日の目標設定と反省を行い、小さい頃からPDCAサイクルを回せるような習慣作り。寺子屋のように読み・書き・そろばん(計算)の指導、社会に出てから役立つ礼儀作法やマナー教育の実施。スタッフや地域に住む大人の話聞き、将来を考えるきっかけを与える。</p>	<p>2017.9 2017.10 2017.11～2018.8</p>	<p>名義後援申請、参加者募集 申込受付開始、アルバイト募集、スタッフ打合せ 事業開始</p>
--	--	---

■活動目標	学校の勉強サポートだけでなく、礼儀作法やマナー教育など、社会に出てから役立つ教育・人材育成を行う。地域に住む大人・留学生の話聞き、交流することで、将来を考えるきっかけとする。
-------	---

■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は「やらされるもの」から「将来に必要なだから、自ら進んでやるもの」に変化していく ・地域の大人と交流することで、ロールモデルを見つける
-------	---

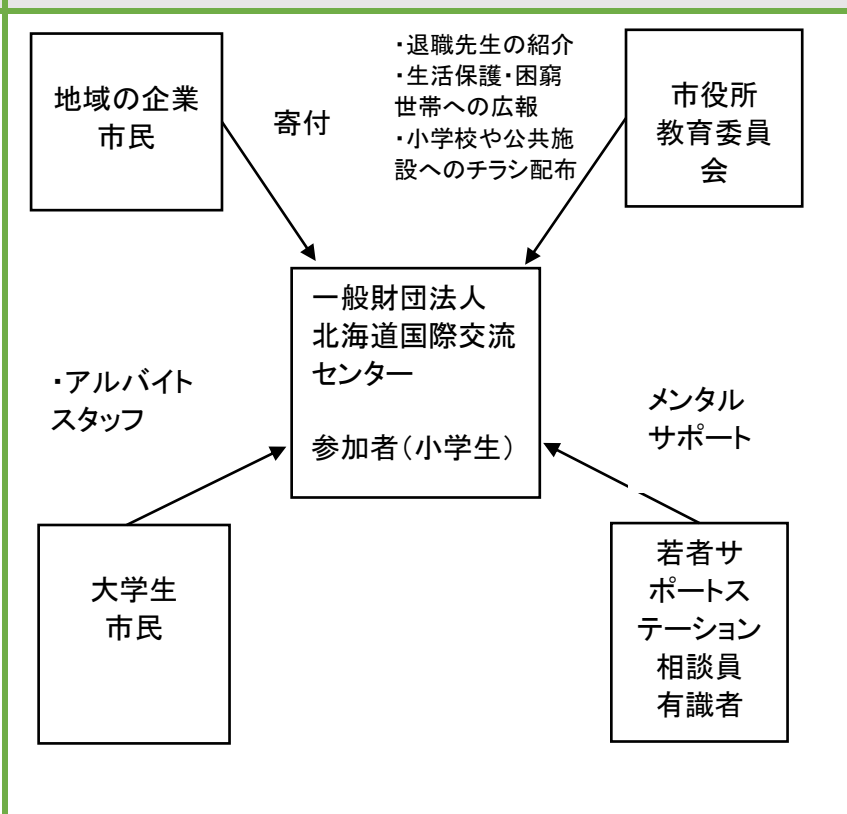
■活動風景

 <p><個別指導の様子></p>	 <p><英会話レッスン(英語で自己紹介)></p>	 <p><誰でも楽しめるレクリエーションゲーム></p>
---	---	--

■上期の成果と下半期に向けた改善点	■実施体制
-------------------	-------

<上期の成果>
 小学校の全校配布、公共施設へのチラシ設置をしたが、スタート当初は参加者2名であった。その後、学年が変わるため、2月に再度チラシ配布をしたところ、新に4名の申し込みがあり、3月の回より6名となった。
 勉強のサポートは、元小学校教諭や学童指導員を経験しているスタッフが集まり、手厚いサポートができていると思う。また、発達障がいの子もいるが、特別支援学級を経験している元教諭のサポートにより、親は安心して様子を見学していた。
 地域の講師陣には、それぞれに工夫を凝らした内容を実施していただいている。子どもたちは「今日はどんな先生が来るのか?どんな内容なのか?」と、毎回、楽しみにしている。
 休憩時にはお菓子を食べながら、子どもたち同士・スタッフとの交流を楽しんでいる。

<下半期に向けた改善点>
 対象学年を3～6年生にし、もう1度チラシ配布を行い、参加者を10名以上に増やしたい。
 もしかすると、「学習支援に通っている＝経済的に困難な家庭の子、かわいそうな子」と思われたくないために、申込をためらっている家庭もあるかもしれない。「どんな子にも学習する機会を与えたい」という、こちらの気持ちを伝えていく必要がある。子どもたちのプライバシーに問題がなければ、新聞社に取材をしてもらいたいと考えている。



〒 040-0054 (住所)北海道函館市元町14-1 (団体名)一般財団法人 北海道国際交流センター (ホームページ): http://www.hif.or.jp/	助成金額	984,000円
	助成期間	H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。